

東京都立図書館協議会第29期第5回

定例

令和3年3月15日（月）

午後2時00分開会

【企画経営課長】 本日は、お忙しいところをお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから第29期第5回東京都立図書館協議会を開会いたします。

初めに、本日の資料の確認をさせていただきます。事務局から事前に資料をお送りしております。お手元にご用意いただいておりますでしょうか。

それでは資料の確認ですが、配付資料1「都立図書館ならではのサービスを考える」提言案でございます。

配布資料2、「第4回定例会発言要旨」でございます。

配布資料3、「主な修正箇所一覧」でございます。

その他、「第29期東京都立図書館協議会委員名簿」、「東京都立図書館幹部職員等名簿」でございます。

資料が不足している場合には、事務局からメールをお送りしますので、お声がけくださいますようお願いいたします。

本日はご都合により、渡部委員、岡田委員の2名がご欠席でございます。定足数は満たしておりますので、会は成立してございます。

次に、この会の情報公開についてご説明申し上げます。当協議会におきましては、会議は原則として公開としております。会議の内容は、委員の名前を付して議事録を作成し、都立図書館のホームページ等により公開いたします。

本日の傍聴者はございません。

続きまして、本日の次第についてご説明いたします。本日は、まず提言案について、第4回定例会からの修正箇所をご確認いただき、次に案を確定いただいた後に議長から館長に提言を手渡ししていただくという流れとなっております。

また、本日は第29期の最終回でございますので、委員の皆様から一言ずつご挨拶を頂戴したいと存じます。どうぞよろしくをお願いいたします。

最後に、オンライン会議の発言ルールについてご確認いたします。発言をしていただく委員はTeamsの「手を挙げる」をクリック、または、マイクをオンにして「議長」と

呼びかけてくださいますようお願いいたします。議長から発言していただく委員のお名前をお呼びしましたら、委員はマイクをオンにしてご発言をお願いいたします。

また、ご発言の最後に「以上です」と言っていただきますと、会議を円滑に進めることができますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

それでは、これからの会議進行につきましては、小田議長をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

【小田議長】 皆さん、こんにちは。それでは、本日の議事に入っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

今日の議事は1つですが、「第29期東京図書館協議会提言について」ということで、資料1、2、3とございますので、それぞれを御覧いただきながら資料1の「都立図書館ならではのサービスを考える」。サブタイトルとして「保有する情報資源の一層の活用を目指して」について、検討していきたいと思えます。

それでは松本さん、ご説明をお願いいたします。

【松本副議長】 それでは、資料3を中心にご説明いたします。必要に応じて資料1と2を御覧ください。

項番1の目次「チャットボット及びチャット等」に「等」がついていましたが、小田議長から「等」は要らないのではないかとのご指摘をいただきました。こちらは削除いたします。併せて項番3、6ページの6行目になりますが、こちらの項目名についても「等」を削除いたしました。

2つ目は同じく目次で、伊藤委員から参考資料のところ、第28期となっているとのご指摘を頂きました。こちらは29期に改めました。

項番3は先ほど言ったとおりです。

項番4ですが、高口委員より実証実験を行っているチャットボットの記述があってもよいのではとのご指摘を頂きました。こちらについて9ページ、15行目「留意点」の2段落目になりますが、「なお」から始まる文章を追加いたしました。

項番5は江草委員から、ウィキペディアタウンの記述が正確性を欠いているとのご指摘を頂きましたので、それについて文章を改めました。

項番6の脚注ですが、こちらも江草委員から定義が違うのではないかとのご指摘を頂きまして、イベントの観点から定義を改めて書き直した次第です。

項番7ですが、高口委員からAR等の利用について利用者との接触を減らすという、新

型コロナウイルス関連との関係からもメリットがあるのではないかとのご指摘を頂きました。それに伴って11ページの6行目、新たに文章を「修正後」にある文章に書き直しました。

項番8は鳥屋尾委員から、電子書籍の利用について、より積極的な記述を入れてはどうかとのご指摘を頂きましたので、「広く活用されることを期待したい」との記述を、新たに19ページに加えました。

項番9ですが岡田委員から「島しょ」と「離島」という言葉が混在して使われているとのご指摘を受けました。この提言では「島しょ」で統一するというので、文章の修正をいたしました。

項番10は高口委員から、コロナの関係で外国人観光客以外にも様々な影響が出ているとのご指摘を頂きました。それに伴って、21ページ2行目以降に「意図せず日本滞在が長期化した外国人」等の文章を新たに付け加えました。

主な修正箇所は以上になります。

【小田議長】 松本さん、ありがとうございます。

修正箇所の確認をしていただきましたので、これにて、部会からのと言いましょか、提言案としては最終的なものになったということですが、委員の皆様方でさらにご意見があればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。どなたからも手は挙がっていないと思われます。よろしいですね。

ありがとうございます。それでは、修正を施した資料1にて、「提言案」の「案」を取りまして、「提言」として確定したものといたします。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【小田議長】 それでは、ご承認いただいたということで提言の確定に至りました。どうもありがとうございます。29期の協議会として、この提言を提出したいと思います。

今後の進行は事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願ひいたします。

【企画経営課長】 ありがとうございます。

それでは、提言を議長から館長に手渡ししていただきたいと存じます。

(提言手交)

【企画経営課長】 ただいま提言を頂きましたので、東京都立中央図書館長の松川からご挨拶をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

【中央図書館長】 中央図書館長の松川でございます。本来、立ってご挨拶申し上げる

べきところですが、リモート会議ということで着座にて失礼いたします。ここで一言ご挨拶を申し上げたいと存じます。

協議会委員の皆様にはこの2年間、それもコロナ禍においてリモート会議となった会が多かったのですが、大変熱心にご議論いただきまして誠にありがとうございました。

特に小田議長におかれましては、滞りなく会を進行していただき、各委員のご意見を提言にまとめていただきました。また松本副議長におかれましては、作業部会の運営や提言執筆に関して中心的な役割をお務めいただきました。大変ご尽力いただきましたことを、館を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。

先ほども申し上げましたが、今期は新型コロナウイルス感染拡大により半年以上協議会の中断を余儀なくされました。私は8月末に現職に着任いたしました。9月にこの協議会の定例会が再開してからは、オンラインでの開催となりましたため、委員の皆様方とは直接お会いすることができませんでした。このことは大変残念に思っております。

ただいま頂きました提言を基に、保有する情報資源を活用した都立図書館ならではのサービスの実現を図るため、組織を挙げて新たな取組に挑戦してまいりたいと考えております。

都立図書館につきまして、今後ともご指導、ご支援をお願い申し上げます。御礼のご挨拶とさせていただきます。先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【企画経営課長】 ありがとうございました。

それでは、最後に皆様から一言ずつご挨拶を頂戴したいと存じます。

初めに、鳥屋尾委員からお願いいたします。

【鳥屋尾委員】 いろいろ勉強させていただく機会を持つことができ、ありがたく思っています。都立図書館の持つ機能と、学校勤務の私自身が校長として学校図書館を機能させていくこととは全然違う機能があるということを、委員をさせていただきながら感じたところです。

より広い視野を持って、図書館がどうあるべきかを考えながら、この仕事をさせていただきました。本当にいい勉強になりました。また、先生方のお話を伺いながら、もっと考えていかなければならないと思いました。

以上です。ありがとうございました。

【企画経営課長】 ありがとうございました。

では、続きまして、内田委員、お願いいたします。

【内田委員】 私は博物館の業界での事例をこちらにもたすことを期待されて任命いただいたと思いますが、最近午前中に東京の美術館のオンラインツアーに出て、午後関西の博物館のオンラインツアーに参加することがありました。従来であれば東京と関西の展覧会を同じ日に見ることはなかなかできませんでした。このコロナ禍でミュージアム業界でも、そういった新しい取組が始まっていて、私がこの委員になる前と後とでは、恐らく世の中の様子はずいぶん変わるのだらうと思います。

その上で、改めて完成した提言書の目次を拝見しますと、コロナ後にも役に立つようなことがあげられています。これは始まる前にそれを見据えていたわけではないと思いますが、アフターコロナにも役に立つ施策が並んでいると思いますので、これを実現する様子を楽しみに見守っていたと思います。

ありがとうございました。以上です。

【企画経営課長】 どうもありがとうございました。

では、続きまして、江草委員、お願いいたします。

【江草委員】 初めてのことでしたし、私の知識や経験が少しでもお役に立てればと思いましたが、コロナ禍でしっかり話し合うことが、私たちは前半に割当があって少しできたのでよかったのですが、このような形でこれに参加して、ディスカッションして、少しでも提言がよくなる方向にできたかなと思っています。

私はなぜかウィキペディアの話ばかりすることになってしまいましたが、ウィキペディアタウンもリアルでやるイベントとなっていて、コロナ禍ではなかなかできない状況ですが、最近ではオンラインでもやるようになって、この会議ももちろんオンラインでやるようになって、こういうふうにもできるということもありますので、これからも図書館とICTやネットワークがうまく、お互いにいい感じにつながっていけるように、少しでもなれたのかなと思っています。

以上です。

【企画経営課長】 どうもありがとうございました。

では、続きまして、久我委員、よろしくお願いいたします。

【久我委員】 コロナ禍で、小田議長や事務局におかれましては会の運営などご苦労が多かったと思いますが、おかげさまで充実した会となったと思います。どうもありがとうございました。

個人的には、中央図書館は非常にすてきな場所にありますので、委員の打診を頂いたと

きは何うことをすごく楽しみにしていましたが、それがあまりかなわず非常に残念な部分もありました。

一方で、意図せずして今回の事態で、これまでも検討されていたものをはじめ、図書館のオンラインサービスの充実に向けた取組が進んだ部分もあったのではないかと思います。

私自身に期待していただいていることは、消費者行動の調査・研究を専門としておりますので、コロナによらず消費者動向を反映していくことだと思いますが、会においては私自身不慣れな点多々ありましたので反映できたのかという部分はありますが、個人的には委員の皆様方のご意見をはじめたくさん学ばせていただき、貴重な機会となりました。

今後とも、東京都立図書館の発展をお祈り申し上げます。どうもありがとうございました。

【企画経営課長】 どうもありがとうございました。

それでは、続きまして、高口委員、よろしくお願いいたします。

【高口委員】 このたびは、委員としてこのような議論に参加する機会を頂き、ありがとうございました。専門家の皆様と議論することによって、より多くの知識を得られたと私自身も思っております。

私はふだんウェブのコミュニケーションサービスを提供する側として働いていますが、このたび図書館の委員として、公共サービスの中でコミュニケーションサービスを利用する側の視点を持つことで、今後の業務あるいは今後の企画にも生かせることを考えられたと思っております。

この状況において、図書館に求められることは非常に高まっていると思いますので、今後もICTの技術を生かしながら、よりよいサービスを提供していただけることを期待しております。

【企画経営課長】 どうもありがとうございました。

それでは、続きまして、結城委員、よろしくお願いいたします。

【結城委員】 皆様、2年間お世話になりました。始まった当初はコロナなど思いもよらない時期で、新しい技術について未来のことと考えていたのですが、この1年間で図書館の現場はそういったものが必要になっている状況だと思います。今回のミーティングに参加して、私もとても勉強になりました。

ただ1つ残念だったのは、私の所属するはずだった専門図書館の部会が開催できず、皆様のご意見をたくさん聞きたかったのですが、それが残念です。またそういう機会があり

ましたら、皆様とお話ししたいと思います。どうもありがとうございました。

【企画経営課長】 どうもありがとうございました。

では、続きまして、伊藤委員、お願いいたします。

【伊藤委員】 最初に小田議長並びに松本副議長、このような提言をまとめていただき、ありがとうございました。

私はこういった場は本当に初めての経験で、様々な勉強をさせていただきました。いろいろな知見を得られたということで、これを、私は今非常勤講師として大学で教鞭をとっておりますが、そういった場でも還元していければと思います。また、今回提言で盛り込んだことが、都立図書館でどのように実現されていくか楽しみにしております。

少し残念だったのは、この後に議論されるべきであった専門図書館について、個人的にどういったものが出てくるのだろうと期待しておりましたが、そこが聞けなかったのは残念に感じています。このようなご時世なので、それは致し方ないことですが、今後機会があればそういったところも拝聴したいと思っています。

本日は皆さん、どうもありがとうございます。

【企画経営課長】 どうもありがとうございました。

続きまして、松本副議長、お願いいたします。

【松本副議長】 2年間ありがとうございました。提言の取りまとめに関わらせていただきまして、力不足のところも多かったと思いますが、皆様のお力で何とかまとめることができました。ありがとうございました。ぜひこの提言を生かして、今後都立図書館の運営を進めていただきたいと思います。

1点、勝手なことを発言させていただきたいと思いますが、今回の提言にも電子書籍あるいは外国語資料のデータベースについて、基礎自治体の図書館への支援が盛り込まれています。

私は基礎自治体の図書館協議会等にも関わらせていただくことがありますが、コロナ対策やカウンター委託、指定管理の推進など、人の面でも職員は随分変わってきています。資料の面でも電子書籍の導入などが進んでいて、基礎自治体の図書館も新しい事態に直面することがかなりあるのかなと思います。

都立図書館は、これまでもいろいろな形で職員の研修やサービスで、基礎自治体の図書館の支援を進めてきたと思いますが、こういった支援あるいは連携をアップデートする形で今後も進めていただくと、基礎自治体の図書館がますます元気になると思います。

今回の提言とは少し離れる部分はありますが、勝手なことを述べさせていただきました。
2年間どうもありがとうございました。

【企画経営課長】 どうもありがとうございました。

では最後に、小田議長、よろしく願いいたします。

【小田議長】 改めて、委員の皆様方に心から感謝申し上げます。この2年間のご協力ありがとうございました。立派な提言になったのではないかと自負しております。

あまり自画自賛してもいけません、と、いって、拙いものを提出するのはまずいわけですから、私たちもこれを1つの誇りにしていきたいと考えております。とりわけ、松本さんには細かいところまでいろいろと見ていただいて、しっかりとしたものになったと受け止めています。

協議会という組織は全国の図書館にあります、場合によっては敷かれたレールの上を委員がただ進んでいくというものもないとは言えません。しかしながら、この都立図書館協議会はそうしたのではなく、最終的な成果としてこうした提言を出せるという、これが大きな財産ではないかと思っています。

とりわけこの1年間、今期の場合には新型コロナウイルスの影響を受けましたので、敷かれたレールどころか方向も定まらぬ中で、こっちにレールを向けて、あっちにレールを向けて、レールを自分たちで敷きながら進んできた感があります。

その点では、事務局の苦労は一層であったと思っておりますので、その事務局のご苦勞に対しても御礼申し上げたいと思っております。この提言を基に、さらに都立図書館が発展することを心から祈っております。

当初予定していたテーマに関して全て取り扱うことはできませんでしたが、その点で十二分にはできなくても、十分ぐらいにはできたかなと思っておりますのでお許しいただいて、この提言を基盤にして、次の発展に向けていただければと思っております。

皆様、どうもありがとうございました。

【企画経営課長】 委員の皆様、貴重なお言葉を頂き、どうもありがとうございました。先ほど館長からもありましたように、頂いた提言の実現に向けまして、これから鋭意取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

それでは、第29期東京都立図書館協議会を閉会いたします。皆様、2年間どうもありがとうございました。

午後2時30分閉会